

マテリアリティ
CSRの重要課題と取り組み状況

NEXCO西日本グループでは、「事業活動を柱として、社会の持続的な発展に貢献します」というCSR活動方針（8ページ参照）のもと、ステークホルダーとの対話で得られたご意見を参考にしながら、CSRの重要課題を特定しています。また、目標の設定・管理にあたっては、高速道路という社会インフラを預かる企業として、安全・安心につながるものを最優先とし、事業に根差した活動に継続的に取り組んでいくことを重視しています。

重要課題(マテリアリティ)	ステークホルダーとの対話の機会(参加者) ^{※1}	重要である理由	KPI・マネジメントアプローチ
			管理のポイント・指標
 お客さま	交通安全の取り組み	高速道路での交通事故は、死傷事故など重大な事故につながります。	死傷事故率 ^{※2} (走行車両1億台kmあたりの死傷事故件数) 車線違反車両取締台数(高速道路上で実施した車線違反車両取締における引き込み台数) 逆走事件数 ^{※2} (交通事故または車両確保に至った逆走事案の件数) 人の立入事案件数(高速道路上で歩行者等の保護または歩行者等がいることの通報を受けた件数)
	快適な高速道路空間の提供	高速道路の円滑な交通を24時間365日確保することによって、国民生活を豊かにし、経済活動を支えることが、当社の責務です。	顧客満足度(CS調査で把握する維持管理に関するお客さまの満足度(5段階評価)) 年間利用台数 通行止め時間(単位営業延長(上下線別)あたりの雨、雪、事故、工事等に伴う年間のべ通行止め時間・距離) 本線渋滞損失時間 ^{※2} (渋滞が発生することによるお客さまの年間損失時間) 路上工事による車線規制時間(道路1kmあたりの路上作業に伴う年間の交通規制時間)
	SA・PAのお客さま満足施設への変革	高速道路は基本的なインフラであり、誰もが利用しやすい施設であることが求められます。	Wi-Fiサービスの提供箇所数 SA・PAインフォメーションの日本政府観光局(JNTO)の外国人観光案内所認定数(カテゴリ1)
 社会	社会基盤である高速道路の整備と長期保全	高速道路ネットワークは、国民生活を豊かにし、経済活動を支える、基本的な社会資本です。また、輸送コストの削減や交通事故の減少にも貢献しています。	新規開通路線延長 スマートIC新規設置箇所数
	災害対応力の強化	管理する道路の多くが建設から30年以上を経過し、補修を必要とする道路構造物が増加しています。	快適走行路面率(舗装路面の健全度を表す車線の延長比率) 要補修橋梁率
	災害対応力の強化	災害発生時、高速道路には、被災地域の救急・復旧・復興のインフラとしての役割が求められています。	南海トラフ地震被害に備えての資機材の新規備蓄箇所
	高速道路を通じた地域活性化	人口減少時代を迎え、沿線地域の活性化への貢献が求められています。	地域物産展実施エリア ^{※3} ウェルカムゲート(一般道からSA・PAに立ち寄れるゲート)新規設置数
 投資家・国民の皆さま	透明性の高い経営の推進と着実な債務の返済	国民の資産である高速道路を管理する事業者として、透明性の高い経営が求められています。	高速道路機構の債務削減
	不正通行対策	また、高速道路機構の債務返済を着実なものにしていくため、経営の効率化が求められています。	不正通行発生件数(後日課金申出のあった車両を除き、通行料金を支払わず料金所を通過した車両の通行件数。ETC未課金車両を含む)
	ステークホルダーとの対話/メディアを通じた情報発信	ステークホルダーから理解・信頼・期待される企業となるために、積極的な情報公開とコミュニケーション活動が重要だと考えています。	社長定例会見(毎月開催) ウェブサイトアクセス数 「なるほど!高速道路発見」工事現場の一般公開 CSR報告書での企業活動報告

※1 上記のほか、経営改善に向けた取り組み全般にわたって、外部有識者からご意見をいただく機会として、「高速道路事業アドバイザリー会議」を開催しています。

※2 集計期間：2015年1月1日～12月31日





※3 NEXCO西日本サービス・ホールディングスが主催するもの

CSRの重要課題と取り組み状況について

サステナビリティ(持続可能性)報告の国際的ガイドラインとして、組織の形態、業種、事業規模、国・地域などを問わず幅広く活用されている「GRIガイドライン第4版」(G4)では、CSRの重要課題を特定することが求められています。以下の表では、当社グループの特定した重要課題がG4のどの指標にあたるかを示しています。高速道路事業は、国民の生活に密接に係わる基本的な社会インフラであるため、関わりのあるステークホルダーも多く、重要課題は多岐にわたっています。

KPI・マネジメントアプローチ				GRIガイドライン第4版(G4)では…		関連ページ	
目標	実績	次年度の目標	集計範囲(バウンダリー)	側面(Aspect)	指標(Indicator)		
7.4件/億台km	7.6件/億台km	7.3件/億台km	NEXCO西日本事業エリアの全国路線網	〈製品責任〉 顧客の安全衛生	G4-PR1 安全衛生の影響評価を行い、改善を図っているものの比率	29ページ	
—	7,233台	—				WEB	
—	99件	—				29ページ	
—	1,348件	—				—	
3.5ポイント以上	3.6ポイント	3.6ポイント		NEXCO西日本事業エリアの全国路線網	〈製品責任〉 製品およびサービスのラベリング	G4-PR5 顧客満足度調査の結果	30ページ
—	981百万台	—					WEB
—	59時間・km/km	—			〈経済〉 間接的な経済影響	G4-EC8 著しい間接的な経済影響(影響の程度を含む)	WEB
—	526万台・時間/年	—					30ページ
—	105時間/km・年	—			—	—	17ページ
—	149カ所	—			—	—	24ページ
67カ所	67カ所	—	—	〈製品責任〉 製品およびサービスのラベリング	G4-PR3 組織が製品およびサービスの情報とラベリングに関して手順を定めている場合、手順が適用される製品およびサービスに関する情報の種類と、このような情報要求事項の対象となる主要な製品およびサービスの比率	31ページ	
—	—	11km	NEXCO西日本事業エリア	〈経済〉 間接的な経済影響	G4-EC7 インフラ投資および支援サービスの展開と影響	32ページ	
3カ所	1カ所	3カ所				WEB	
97%	97%	97%		〈製品責任〉 顧客の安全衛生	G4-PR1 安全衛生の影響評価を行い、改善を図っているものの比率	WEB	
—	256橋	—				WEB	
6カ所 累計 232カ所	2カ所 累計 228カ所	4カ所 累計 232カ所		〈社会〉 地域コミュニティ	G4-SO1 事業のうち、地域コミュニティとのエンゲージメント、影響評価、コミュニティ開発プログラムを実施したものの比率	WEB	
67カ所	67カ所	—				WEB	
—	1カ所 (累計66カ所)	—				36ページ	
4ページの「高速道路機構の債務残高」をご覧ください。			(旧道路関係4公団)	〈経済〉 経済的パフォーマンス	G4-EC1 創出、分配した直接的経済価値	4ページ	
—	53,473件	—	NEXCO西日本事業エリア	—	—	37ページ	
—	11回	—	NEXCO西日本	—	—	37ページ	
前年比 +5%	対前年比 +4.2%	—				37ページ	
15回	26回	—	NEXCO西日本グループ	—	—	WEB	
1回	1回	1回				46ページ	

マテリアリティ
CSRの重要課題と取り組み状況

重要課題(マテリアリティ)	ステークホルダーとの対話の機会(参加者) ^{※1}	重要である理由	KPI・マネジメントアプローチ					
			管理のポイント・指標					
 お取引先	SA・PAのテナント会社との協働	<ul style="list-style-type: none"> 現場責任者会議等(SA・PAテナント会社) 	お客さまの多様なニーズに応えるため、SA・PAのテナント会社との協働を重視しています。	防犯講習会(不当要求含む)	食品衛生講習会	誤給油防止訓練		
	公正な取引関係	<ul style="list-style-type: none"> 入札監視委員会(外部有識者) 		国民の財産である高速道路の建設・管理を担う会社として、公共調達に係る契約の透明性の確保が求められています。	入札監視委員会の実施回数			
 グループ社員	人材の育成/ ダイバーシティの推進	<ul style="list-style-type: none"> キャリア相談窓口(NEXCO西日本社員) ウィメンズネットワーク(NEXCO西日本女性社員) 経営懇談会、労使協議会(NEXCO西日本労働組合員) 外部講師による研修(グループ社員) 	中期経営計画に定めた「自立と成長」を実現するため、一人ひとりが仕事を通じて自律的に成長していける人材育成と、組織・会社の自己変革が重要だと考えています。	階層・職種別研修	資格取得支援制度の利用者数	女性管理職者比率		
		<ul style="list-style-type: none"> 各種の対話の機会を通じた環境コミュニケーション(お客さま、地域住民、グループ社員、専門家) 		高速道路の建設・管理では、大量の建設副産物が発生するため、その削減が求められています。	<ul style="list-style-type: none"> 環境アクションプラン CO₂排出量削減のための省エネルギー活動 	電気使用量の抑制によるCO ₂ 排出量の削減(道路施設の維持管理に要する電気使用量)	新設料金所等に太陽光発電を設置する	電気自動車急速充電設備の整備数
 環境保全	低炭素社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> 各種の対話の機会を通じた環境コミュニケーション(お客さま、地域住民、グループ社員、専門家) 	高速道路の建設・管理では、大量の建設副産物が発生するため、その削減が求められています。	建設発生土の有効利用率	アスファルト・コンクリート塊の再資源化率	コンクリート塊の再資源化率	刈草等の有効活用率	グリーン調達
	循環型社会の形成			<ul style="list-style-type: none"> 環境アクションプラン グリーン調達の推進 	動物侵入防止対策	新規開通路線における高機能舗装面積		
	自然と共生する社会の推進			<ul style="list-style-type: none"> 吉野川渡河部の環境保全に関する検討会(外部有識者、地域住民) 鶯殿ヨシ原の環境保全に関する検討会(外部有識者、地域住民) その他、必要に応じて外部委員会を設置	高速道路の建設では、沿道地域の自然環境に影響を及ぼすため、その影響の緩和が重要になります。また、沿道地域の生活環境を守るため、道路交通による影響の低減が求められています。	<ul style="list-style-type: none"> 環境アクションプラン エコロード(自然に優しい道路づくり)の推進 周辺の生活環境への影響を減らす道路づくり 		
 社会貢献	「安全」「環境」「地域貢献」の分野での取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 高速道路交通警察隊(当社事業エリアの各府県) 高速道路安全協議会(当社事業エリアの各府県) 	社会インフラを管理する公共性の高い企業として、地域社会への貢献が求められています。	交通安全啓発活動	職場周辺における清掃活動	つなぎの森活動		

※1 上記のほか、経営改善に向けた取り組み全般にわたって、外部有識者からご意見をいただく機会として、「高速道路事業アドバイザー会議」を開催しています。
 ※2 ハイウェイオアシスへの設置は含まない

KPI・マネジメントアプローチ					GRIガイドライン第4版(G4)では…		関連ページ
目標	実績	次年度の目標	集計範囲(バウンダリー)	側面(Aspect)	指標(Indicator)		
—	年1回	—	飲食物販テナント事業者	〈人権〉 保安慣行	G4-HR7 業務関連の人権方針や手順について研修を受けた保安要員の比率	WEB	
—	年1回	—			元売テナント事業者等	〈製品責任〉 顧客の安全衛生	G4-PR1 安全衛生の影響評価を行い、改善を図っているものの比率 G4-PR2 製品やサービスのライフサイクルにおいて発生した、安全衛生に関する規制および自主的規範の違反事例の総件数(結果の種類別)
—	年1回	—	NEXCO西日本	〈社会〉 腐敗防止			G4-SO3 腐敗に関するリスク評価を行っている事業の総数と比率、特定した著しいリスク
—	のべ 750回	—	NEXCO西日本グループ	〈労働慣行〉 研修および教育	G4-LA9 従業員一人あたりの年間平均研修時間(男女別、従業員区分別)	WEB	
—	137人	—	NEXCO西日本			WEB	
—	7.5%	—	NEXCO西日本グループ	〈労働慣行〉 雇用	G4-LA1 従業員の新規雇用者と離職者の総数と比率(年齢、性別、地域による内訳) G4-LA2 派遣社員とアルバイト従業員には支給せず、正社員に支給する給付(主要事業拠点ごと) G4-LA3 出産・育児休暇後の復職率と定着率(男女別)	40ページ	
2009年度 比で 6%削減する	73.9千kWh /km (▲9.1%)	72.3千kWh /km以下	NEXCO西日本事業エリア	〈環境〉 エネルギー	G4-EN7 製品およびサービスが必要とするエネルギーの削減量	42ページ	
40kWh	40kWh	20kWh				42ページ	
16カ所	16カ所※2	—				NEXCO西日本事業エリアのSA・PA	42ページ
80%以上	97.5%	80%以上	NEXCO西日本事業エリア	〈環境〉 原材料 排水および廃棄物	〈原材料〉 G4-EN1 使用原材料の重量または量 G4-EN2 使用原材料におけるリサイクル材料の割合 〈排水および廃棄物〉 G4-EN23 種類別および処分方法別の廃棄物の総重量	42ページ	
99%以上	100%	99%以上				42ページ	
95%以上	95.9%	95%以上				42ページ	
調達可能なものは 100%を目指す	100%	調達可能なものは 100%を目指す	NEXCO西日本	〈環境〉 サプライヤーの環境評価	G4-EN32 環境クライテリア(評価基準)により選定した新規サプライヤーの比率	42ページ	
41km	29.6km	96カ所設置	NEXCO西日本事業エリア	〈環境〉 生物多様性	G4-EN13 保護または復元されている生息地	42ページ	
90千m ²	68.8千m ²	—				42ページ	
—	のべ70回	—	NEXCO西日本グループ	〈社会〉 地域コミュニティ	G4-SO1 事業のうち、地域コミュニティとのエンゲージメント、影響評価、コミュニティ開発プログラムを実施したものの比率	43ページ	
—	のべ4,020回	—				WEB	
—	3カ所 のべ7.4ha	—				NEXCO西日本管内 実施箇所 (全7カ所のべ100ha)	WEB